

第 29 期（2018 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成
特定テーマ助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の特定テーマ助成「サンゴ礁保全をめぐる地域課題に関する調査・研究およびアウトリーチ活動」を申し込みます。

1. タイトル

〇〇島のサンゴ礁の文化的価値の創出

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。副題は用いないでください。

2. 申請団体

| | | | |
|---------|--|-------|--------------------------------|
| 団体名 | XXX研究グループ プロジェクトを行う団体の名前にして下さい。大学名・学部名のみはNG。 | | |
| フリガナ | シゼン タロウ | 生年 | |
| 申請代表者氏名 | 自然 太郎 | 月日 | |
| | | [年齢] | |
| 所属機関・役職 | 自然大学大学院 環境学専攻人文地理学研究室 教授 | | |
| 住所 | 〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。 | | どちらかに○をつけてください。 (自宅・職場) |
| 電話 | 自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。 | 携帯電話： | |
| e-mail | 連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。 | URL | 団体のサイトがある場合はURLをお書きください。 |

3. テーマの種類（いずれか一つ選択してください）

- 1. サンゴ礁とその周辺地域とのつながりに関する自然科学的な調査・研究
- 2. サンゴ礁と地域住民の暮らしのつながりに関する人文・社会科学的な調査・研究
- 3. 上記の分野に跨る学際的研究
- 4. サンゴ礁保全に関する新たな知見の共有のための、アウトリーチ活動
- 5. その他（

複数選択しないでください。
複数のテーマにまたがる場合は、「その他」を選択してください。

4. プロジェクトの目的（200 字程度）

本申請プロジェクトにおいて、サンゴ礁の保全のために、どのような地域課題を調査・研究するのか、あるいはどのようなアウトリーチ活動を行うのか、明確かつ簡潔にお書きください。

例) 〇〇島のサンゴ礁は、生物多様性が非常に豊かであるにもかかわらず、開発による破壊が懸念されている。本研究では、地域住民にヒアリングを行うことによって、サンゴ礁の文化的価値を見出し、自然だけでなく地域にとってもサンゴ礁を保全していくことが重要であるということを示す・・・

5. 助成申請額

200 万円

- 本助成の上限金額は1年間で100万円です。2年間のプロジェクトを申請される場合は、2年分の費用を合算してお書きください
- 支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額をお書きください。千円・百円単位まで書かないでください。こちらに記載されている金額が、助成金額となります。
- 本助成プログラムでは複数の助成金を使って実施するプロジェクトには助成いたしません。

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の審
助成基金個人情報保護に関する基本方針にのっ

プロジェクト計画書（1）

1. プロジェクト課題の意義，新規性

(1) 本プロジェクトを行う自然保護上の重要性について，要点を200字程度でお書きください。

〇〇島のサンゴ礁は，世界的にも珍しい地形を形成しており，様々な生き物の棲み処となっているだけでなく，地域住民にとっても重要な資源のある場所として重宝されてきた。しかし・・・

文字のフォントを大きくしたり，太字にしたりして，内容が一目で明確にわかるように，適宜工夫してください。

(2) 対象地域の地理的特徴について具体的にお書きください。

上記で述べた内容の詳細についてお書きください。

〇〇島は〇〇県の南西部に位置する面積およそxxx m²の離島で，造礁サンゴによる見事なサンゴ礁が見られる・・・

地図や写真などを貼り付けても構いません。

地図

※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置の変更はしないでください。また，ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図は，モノクロ印刷で審査に付されるため，モノクロでも見分けの付く範囲内でお願います。

(3) 対象地域において、これまでどのような調査・研究がなされてきたのか、そしてどのようなことがわかっているのか、具体的にお書きください。

対象地域において、これまで当財団の助成により行った研究・調査（本プロジェクトに関連する）があれば、お書きください。

本プロジェクトは、第28期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成研究助成により、〇〇島における造礁サンゴの分布調査を行っている。その結果、～～ということがわかっている。・・・

(4) 対象地域において、何がまだ解明されていないのか、あるいはどのようなアクションが未だとられていないのか、本プロジェクトではどのようなことを調査・研究するのか、どのような活動をするのか、具体的にお書きください。

これまで、生物地理学的な調査は行われてきたが、〇〇島のサンゴ礁が持つ文化的な価値に関する調査・研究はほとんど行われてこなかった。そこで、本プロジェクトでは・・・

- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整していただいて構いません。

プロジェクト計画書 (2)

2. 研究計画

1) 本プロジェクトの具体的な到達目標についてお書きください。

いつまでに何を達成するのか、具体的にお書きください。

【1年目】：地域住民を対象としたヒアリング

- ・2018年11月～2019年2月にかけて、〇〇島の〇〇地域において、インタビュー調査を行い、地域住民とサンゴ礁とのつながりについて分析する・・・
-

【2年目】：〇〇島のサンゴ礁の文化的価値についてアウトリーチ活動

- ・2020年3月までに〇〇島のサンゴ礁と地域住民とのかかわりに関するパンフレットを発行する・・・
- ・2020年5月までに地域住民や自治体、開発業者を対象にしたシンポジウムを開催し、・・・

2年間のプロジェクトの場合は、1年目と2年目の到達目標を分けてお書き下さい。1年目と2年目の全体的な目標もお書きください。

2) 上記の目標を達成するために、どのような調査方法でプロジェクトを遂行するのか、お書きください。

【1年目】：地域住民を対象としたヒアリング

- ・インタビュー調査は、**の手法で行う・・・

3) 予算計画について、特記すべき点があれば、お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは、説明してください。

4) プロジェクトグループの構成メンバーの専門性などについて、特記すべき点があれば、お書きください。

- 字数制限はありませんのでページ内で回答スペースを調整してください。
- 3) と 4) の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

プロジェクト計画書（3）

3. 期待される成果

本プロジェクトにおいて期待される成果を、100字程度で簡潔にお書きください。

〇〇島のサンゴ礁の保全が地域の人々の暮らしや伝統文化を守るためにも重要であるということが示されれば、開発事業者にも別の視点からアプローチができるようになり、また将来的には地域住民主体の自然環境保全が可能になる。 . . .

こちらも、フォントや文字の大きさを工夫して見やすくなるようにしてください。

本プロジェクトの成果を、今後の地域のサンゴ礁保全を行っていく上で、どのように役立てていくのか、具体的にお書きください。

今後、成果を活かしてどのように地域の自然が保全されていくのか、具体的にお書きください。

年間スケジュール(1)

| 時期 | 内容とその詳細 | 助成金 支出概算 |
|---------|---|----------------------------|
| 18年10月 | データの整理・とりまとめ | |
| 11月 | インタビュー調査(1週間) ・調査に使用する備品・消耗品(文房具等)の購入 | 旅費 100,000 消耗品費 30,000円 |
| 12月 | | 旅費 100,000円 |
| 19年1月 | | 旅費 100,000円 |
| 2月 | | 旅費 100,000円 |
| 3月 | | |
| | 【1年間プロジェクト】中間報告書の提出 | |
| 4月 | | |
| 5月 | | |
| 6月 | | |
| 7月 | | |
| 8月 | | |
| 9月 | 【1年間プロジェクト】プロジェクトの終了 【2年間プロジェクト】中間報告書の提出 | |
| 11月～12月 | 【1年間プロジェクト】助成成果発表会 | 成果発表会出席経費 |

月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は、
↓でお示してください。
行の高さは変更して構いませんが、ページは増やさないでください。

支出費目と金額をお書きください。
自己負担で支出するものについては記入しないでください。

1年間のプロジェクトの方はこちらに出席経費を記入してください。

年間スケジュール(2)

| 時期 | 内容とその詳細 | 助成金 支出概算 |
|-------|--|--|
| 20年1月 | | |
| 2月 | | |
| 3月 | | |
| 4月 | | |
| 5月 | | |
| 6月 | | |
| 7月 | | |
| 8月 | | |
| 9月 | 【2年間プロジェクト】プロジェクトの終了 | |
| 10月 | 【2年間プロジェクト】最終報告書の提出 | |
| 12月 | <p style="text-align: center;">【2年間プロジェクト】助成成果発表会 成果発表会はプロジェクト終了年にのみご参加ください。</p> | <p style="text-align: center;">成果発表会出席経費 4,000円</p> |

支出概算の合計が申請金額と同じになるようにしてください。

グループの構成員

| 氏名 | 所属 | 役職 | 分担* |
|-------|---------|----------|----------|
| 自然太郎 | 自然大学大学院 | 教授 | 責任者（申請者） |
| ●● ●● | 自然大学大学院 | 博士後期課程1年 | 副責任者 |
| ●● ●● | 自然大学 | | 会計責任者 |

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者としてください。

大学の研究者が申請代表者となる場合、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。大学への寄附手続きは当財団では行いません。会計処理が困難となる場合は、グループ内で会計係を設けるようにしてください。

*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めて下さい。）

これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

| |
|-------------------------------------|
| XXXX年 自然大学大学院 環境学専攻 博士後期課程修了（環境学博士） |
| XXXX年 研究員 着任 |

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可）

| |
|---|
| a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）、論文タイトル、雑誌名、巻（号）：初めのページ数-終りのページ数。 様式（書籍の場合）：著者（出版年）、タイトル、出版社、ページ数。 |
| b) 様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日 |
| c) |

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが、本申請の内容に関連するものに限りません。

助成金申請状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

| 機関名 | テーマ | 金額(万円) |
|-----|-----|--------|
| | | |

2. 現在、第29期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。

| カテゴリー名 | タイトル |
|--------|------|
| | |

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することもご遠慮ください。

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません)

I 申請者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上

II 過去に、申請者は本助成の助成金を得たことはありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト

チラシ ・ 友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書きください。

V 本助成に関するご意見・ご要望があれば、お書きください。

VI 本助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

チェックリスト

- 記入漏れ、記入ミスはありませんか？
- ページ数はアンケートを含め9ページに収まっていますか？
- アンケートは記入しましたか？
- 支出計画書は記入しましたか？

1年プロジェクトの場合は1年用のフォーマットに記入してください。

支出計画書(1)_1年目

プロジェクト名:

助成申請額

¥1,000,000 円

自動的に算出されますので記入しないでください。
申請書の申請金額と相違がないようご確認ください。

団体:

代表者:

会計責任者:

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

| 費目 | 内訳 | 単価 | 数量 | 小計 |
|-------------|------------------------------|---------|----|----------|
| a.器具・備品費 | 調査用撮影カメラ | ¥50,000 | 1 | ¥50,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥50,000 |
| b.消耗品費 | 文房具一式(ペン, ノート) | ¥500 | 10 | ¥5,000 |
| | インタビュー記録用ボイスレコーダー | ¥5,000 | 5 | ¥25,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥30,000 |
| c.委託費 | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥0 |
| d.賃金・謝金 | 地域アドバイザー謝金 | ¥10,000 | 2 | ¥20,000 |
| | 調査協力アルバイト賃金 (時給1000円×5時間) | ¥5,000 | 10 | ¥50,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥70,000 |
| e.旅費 | 東京⇄〇〇島(往復航空券) | ¥50,000 | 10 | ¥500,000 |
| | 宿泊費 | ¥8,000 | 30 | ¥240,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥740,000 |
| f.交通・通信・運搬費 | 資料の送付代 | ¥1,000 | 3 | ¥3,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥3,000 |

※記入欄が足りない場合は、行を追加して、不要な行を削除して記入して下さい。

支出計画書(2)_1年目

| 費 目 | 内 容 | 単 価 | 数 量 | 金 額(円) |
|----------|--------------------|---------|------|------------|
| g.図書・資料費 | 書籍 地図 | ¥5,000 | 4 | ¥20,000 |
| | | ¥1,000 | 5 | ¥5,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥25,000 |
| h.印刷費 | 資料コピー代 | ¥10 | 1000 | ¥10,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥10,000 |
| i.会議費 | 地域住民との会合会場費 弁当代 | ¥50,000 | 1 | ¥50,000 |
| | | ¥1,000 | 20 | ¥20,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥70,000 |
| j.借用費 | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥0 |
| k.雑経費 | 振込手数料 | ¥400 | 5 | ¥2,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥2,000 |
| 助成申請額合計 | | | | ¥1,000,000 |

※1年目と2年目の合計助成申請額が200万円を超えないようにご注意ください。

支出計画書書(3)_2年目

プロジェクト名:

助成申請額

¥1,000,000 円

団体:

代表者:

会計責任者:

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

| 費 目 | 内 訳 | 単 価 | 数 量 | 小 計 |
|-------------|--------------------------------|-------------------|----------|----------|
| a.器具・備品費 | データ解析用コンピュータプログラム | ¥85,000 | 1 | ¥85,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥85,000 |
| b.消耗品費 | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥0 |
| c.委託費 | パンフレットデザイン委託費 | ¥100,000 | 1 | ¥100,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥100,000 |
| d.賃金・謝金 | シンポジウム運営協力アルバイト賃金 (日当8000円) | ¥8,000 | 5 | ¥40,000 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥40,000 |
| e.旅費 | 東京⇄〇〇島(往復航空券) 宿泊費 | ¥50,000 ¥5,000 | 10 32 | ¥500,000 |
| | | | | ¥160,000 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥660,000 |
| f.交通・通信・運搬費 | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥0 |

支出計画書(4)_2年目

| 費 目 | 内 容 | 単 価 | 数 量 | 金 額(円) |
|---------------|-------------------------|----------|-----|------------|
| g.図書・資料費 | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥0 |
| h.印刷費 | パンフレット印刷費(¥10,000/100部) | ¥10,000 | 1 | ¥10,000 |
| (合計) | | | | ¥10,000 |
| i.会議費 | セミナー会場利用料 | ¥100,000 | 1 | ¥100,000 |
| (合計) | | | | ¥100,000 |
| j.借用費 | 会場備品使用料 | ¥1,000 | 1 | ¥1,000 |
| (合計) | | | | ¥1,000 |
| k.雑経費 | | | | ¥0 |
| (合計) | | | | ¥0 |
| l.助成成果発表会出席経費 | ABC駅⇄東京23区内(往復) | ¥4,000 | 1 | ¥4,000 |
| (合計) | | | | ¥4,000 |
| 助成申請額合計 | | | | ¥1,000,000 |

成果発表会には必ずご出席ください。そのための旅費は必ずこちらに計上して下さい。なお、発表者1名分のみ計上して下さい。